

J Aびえい SDGs取組方針

美瑛町農業協同組合

I. 取組方針

～ 取組方針 ～

J Aびえいは、2015年9月の国際連合サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals、以下SDGs)が、J A綱領、J Aびえいの経営理念および中期経営計画で取り組む農業振興、地域活性化と親和性が高く、基本的価値を共有するものと考えます。

このことをふまえ、SDGsの経済・社会・環境の3側面にもとづく17の目標、169のターゲットの実践にあたっては、「食と農を基軸に地域に根ざした協同組合組織」であるJ Aびえいの特性をふまえ、重点実施事項を以下の4つの取り組みに整理し、この取り組みを通じて、持続可能なJ Aの運営ならびにSDGs達成の貢献を目指します。

II. 重点目標

J Aびえいは「J AびえいSDGs取組方針」に基づき、J A綱領、J Aびえいの経営理念をふまえたうえで、農業・J Aに関係の深いSDGsの達成に向けて、次の重点目標に取り組むこととします。

- 1. 地域の農業を守り、将来にわたって持続可能な農業・農村を目指します**
～農業者の所得増大と農業生産の拡大を図ることを基本とし、安定的な食料供給を行うことで食料安全保障の確立に寄与し、農業の未来に貢献することを目指していきます～

【主な取組項目】

- ・ 農作業労働者の確保支援、JA集荷場施設での機械化導入
- ・ コントラ事業による収穫負荷軽減、大型投資抑制による農業所得の向上
- ・ 最低保証価格を設定した複数年契約の実施
- ・ 持続的営農活動のための栽培試験・栽培技術講習会の開催
- ・ 家畜の飼養環境改善対策と家畜疾病予防の取り組み
- ・ 良質な自給飼料の生産向上に向けた取り組み
- ・ 農業生産資材の協同購入と各種奨励施策による生産コスト削減
- ・ 農作業省力化や高品質化に向けたスマート農業技術の推進

【SDGsとの関連性】



2. 循環型農業・自然環境への負荷軽減に取り組みます

～農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業に取り組みます～

【主な取組項目】

- ・ 土づくり（土壌診断・堆肥・緑肥助成）への継続支援
- ・ Y E S !cleanの取り組み
- ・ 農業用プラスチックの適正処理
- ・ 家畜排せつ物の有効活用、良質な堆肥生産による耕種農家の利用拡大
- ・ 飼養頭数に見合った飼料畑の確保による遊休農地の拡大防止
- ・ JAバンク手続きのペーパーレス化（営業店システムへの移行）

【SDGsとの関連性】



3. 総合事業の強みを発揮し地域社会づくりに貢献します

～地域に暮らす組合員、地域住民に対して地域に根ざす協同組合としての役割を積極的に果たしていきます～

【主な取組項目】

- ・ 正組合員及び家族の健康管理活動推進(人間ドック・巡回ドック助成)
- ・ 町内小中学生への食農教育、学校給食へ美瑛米・食パン贈呈
- ・ 3Q訪問活動、組合員宅一日一斉訪問の実施
- ・ ホクレン移動購買車への支援
- ・ 農福連携事業への支援
- ・ 地域での農商工連携（イベントの共同開催）
- ・ 広報活動を通じた農業理解への情報提供
- ・ 自然災害時の避難場所としての施設の提供

【SDGsとの関連性】



4. JA参画の多様性と人材育成を通じ、JA経営の基盤を強化します

～人材育成、職場環境の整備等により、多様な人材がいきいきと働くことが出来るようにすることで組織全体の活性化と職員の生産性の向上を目指します～

【主な取組項目】

- ・ 全職員の定期健康診断の実施
- ・ 資格取得の奨励、各種研修への派遣
- ・ 福利厚生制度の充実、健康経営への取り組み
- ・ 女性活躍の推進（正組合員・役員・総代・管理職への登用、職場環境の整備）
- ・ 組合員組織との交流
- ・ 多様なお客様との関わりを強化（JA各施設のバリアフリー化等）

【SDGsとの関連性】



《取組事項の進捗管理》

- ・ 「JAびえいSDGs取組方針」に基づき、具体的な行動計画を策定し、PDCAサイクルで進捗管理を行い、JAびえいのSDGs重点目標の達成へ向けて取り組んでいくこととします。

Ⅲ. 取組方針の実践に向けた考え方等

1. 「JAびえいSDGs取組方針」の目的

- ・ SDGsは「誰一人取り残されない社会の実現」「自分たちが行ってきたことを次の世代や地域社会につなぐ」ことを趣旨したものであり、JA綱領および綱領の原点である二宮尊徳が提唱した報徳訓とも親和性が高いものです。
- ・ このことをふまえ、JAにおける地域課題の解決（共益）に貢献する取り組みへ、JA役職員が一体となって共通認識の醸成を図るとともに、各部署・団体等の特長的な取り組みを促進し、対外的に積極的な情報発信するために定めるものです。

2. 「JAびえいSDGs取組方針」の策定にあたっての「基本的考え方」

- ・ SDGsの17の目標は、1つの取り組みを通じて、複数の目標達成を実現するなど、相互に関わりあう内容です。
- ・ JAびえいは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として総合事業を展開していることから、各取り組みを通じて、すべての目標の達成に貢献できる可能性があるため、JAびえいの事業・活動の規模や優先順位、地域性等を勘案して、個性と実効性のある「取組方針」を策定し、対

外的にも積極的に情報発信していきます。

3. 情報発信

- ・「JAびえいSDGs取組方針」に基づき、JAびえいのSDGsの取り組みについて、JAびえいの広報誌「丘の大地」やHP・SNS等で積極的に発信します。

以上